

（教育実践）遠隔授業において iPad を実物投影機として活用する

リオデジャネイロ日本人学校

教諭 吉村 正浩

遠隔授業において、教科書やノートなどを実物投影機等で映すことによる効果は大きい。

iPad を専用スタンドに載せて使うこともできるが、代替案として本を 30 cm 程度積んだ上に iPad を載せてカメラ機能を使うことができる。

専用スタンド（例）



本(約 30cm)を積んだ上に iPad を載せた利用法



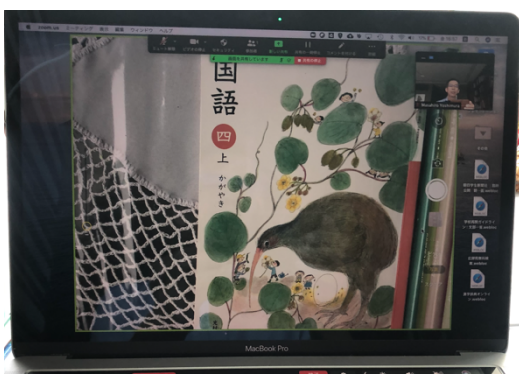
USB でコンピュータと iPad を接続する



ビデオ会議システムの画面共有機能で、
iPad（ケーブル接続）を選ぶ



コンピュータ画面



このようにすると、教科書の場所を指し示したり、ノートやワークシートにどう書くかを具体的に見せたり、動きのあるものを実際に見せたりできる。

折り紙の折り方など動きでの説明が必要な場合も、タブレットを固定することにより、両手で実演することができる。

専用のスタンドが手に入りにくいときに、このような方法で代用できる。